

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 2 月 22 日 (2007.2.22)

【公開番号】特開 2005-244587(P2005-244587A)
 【公開日】平成 17 年 9 月 8 日 (2005.9.8)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-035
 【出願番号】特願 2004-51541(P2004-51541)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

G 0 3 B 17/04 (2006.01)

H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 Z

H 0 4 N 5/225 B

G 0 3 B 17/04

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 27 日 (2006.12.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮像レンズを設けた第 1 の筐体と、
 表示部を設けた第 2 の筐体と、
前記第 1 の筐体と前記第 2 の筐体とを回動可能に支持するヒンジ部と
 を具備し、
 前記第 1 の筐体の撮像レンズは、前記第 1 の筐体の一面から突出しており、
 前記第 2 の筐体の一面に、前記撮像レンズの突出長以上の深さを有し、かつ底面を前記
表示部の表面とした凹部を形成し、
 前記ヒンジ部を介在して前記第 1 の筐体と第 2 の筐体を回動させ、前記第 1 の筐体の撮
 像レンズを設けた面と前記第 2 の筐体の表示部を設けた面とを対接させた場合に、前記撮
 像レンズの突出部分が前記凹部に収められる構造を有する
 ことを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

撮像レンズを設けた第 1 の筐体と、
 表示部を設けた第 2 の筐体と、
前記第 1 の筐体と第 2 の筐体とを、前記第 1 の筐体の撮像レンズを設けた面と前記第 2
の筐体の表示部を設けた面とを対接させた第 1 の状態と、前記第 1 の筐体の撮像レンズを
設けた面と逆の面と前記第 2 の筐体の表示部を設けた面と逆の面とを対接させた第 2 の状
態とに変形可能に支持するヒンジ部と
 を具備し、
 前記第 1 の筐体の撮像レンズは、前記第 1 の筐体の一面から突出しており、
 前記第 2 の筐体の一面に、前記撮像レンズの突出長以上の深さを有し、かつ底面を前記
表示部の表面とした凹部を形成し、
 前記ヒンジ部を介在して前記第 1 の筐体と第 2 の筐体を回動させ、前記第 1 の状態の時

に、前記撮像レンズの突出部分が前記凹部に収められる構造を有することを特徴とする撮像装置。

【請求項 3】

前記ヒンジ部は、前記第 1 の筐体を回動可能に支持する第 1 の回動軸、前記第 2 の筐体を回動可能に支持する第 2 の回動軸を設けた

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記第 2 の筐体は、回路基板を内蔵しており、

前記表示部と前記回路基板を、前記第 2 の筐体の内部において、その平板方向に沿って並べて配置した構造を有する

ことを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 5】

前記第 2 の筐体又は前記第 1 の筐体の内少なくとも一方は薄板状である

ことを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載の撮像装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項 1 記載の発明は、撮像レンズを設けた第 1 の筐体と、表示部を設けた第 2 の筐体と、前記第 1 の筐体と前記第 2 の筐体とを回動可能に支持するヒンジ部とを具備し、前記第 1 の筐体の撮像レンズは、前記第 1 の筐体の一面から突出しており、前記第 2 の筐体の一面に、前記撮像レンズの突出長以上の深さを有し、かつ底面を前記表示部の表面とした凹部を形成し、前記ヒンジ部を介在して前記第 1 の筐体と第 2 の筐体を回動させ、前記第 1 の筐体の撮像レンズを設けた面と前記第 2 の筐体の表示部を設けた面とを対接させた場合に、前記撮像レンズの突出部分が前記凹部に収められる構造を有することを特徴とする撮像装置である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項 2 記載の発明は、撮像レンズを設けた第 1 の筐体と、液晶表示部を設けた第 2 の筐体と、前記第 1 の筐体と第 2 の筐体とを、前記第 1 の筐体の撮像レンズを設けた面と前記第 2 の筐体の表示部を設けた面とを対接させた第 1 の状態と、前記第 1 の筐体の撮像レンズを設けた面と逆の面と前記第 2 の筐体の表示部を設けた面と逆の面とを対接させた第 2 の状態とに変形可能に支持するヒンジ部とを具備し、前記第 1 の筐体の撮像レンズは、前記第 1 の筐体の一面から突出しており、前記第 2 の筐体の一面に、前記撮像レンズの突出長以上の深さを有し、かつ底面を前記表示部の表面とした凹部を形成し、前記ヒンジ部を介在して前記第 1 の筐体と第 2 の筐体を回動させ、前記第 1 の状態の時に、前記撮像レンズの突出部分が前記凹部に収められる構造を有することを特徴とする撮像装置である。

請求項 3 記載の発明は、前記ヒンジ部は、前記第 1 の筐体を回動可能に支持する第 1 の回動軸、前記第 2 の筐体を回動可能に支持する第 2 の回動軸を設けたことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の撮像装置である。

請求項 4 記載の発明は、前記第 2 の筐体は、回路基板を内蔵しており、前記表示部と前記回路基板を、前記第 2 の筐体の内部において、その平板方向に沿って並べて配置した構造を有することを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載の撮像装置である。

請求項 5 記載の発明は、前記第 2 の筐体又は前記第 1 の筐体の内少なくとも一方は薄板

状であることを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載の撮像装置である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項 1 記載の発明によれば、第 1 の筐体の撮像レンズを設けた面と第 2 の筐体の表示部を設けた面とを対接させた状態にある場合に、第 1 の筐体から撮像レンズが突出していても、この撮像レンズの突出部分が凹部に収められる構造としたので、撮影画質を向上させた上で、表示部の面積を広くすることができる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】